
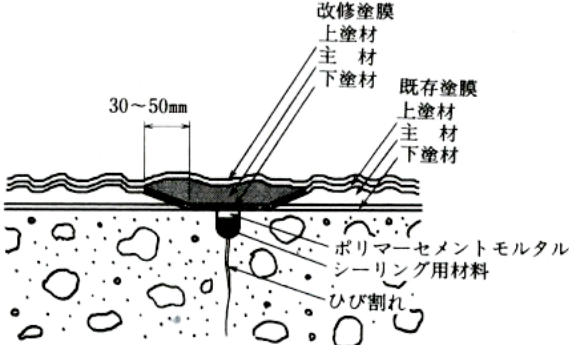


最終更新日 H25.3.1
改修技術 No. 11111401

性能分野	耐久性・耐用性
大分類	劣化部分の補修、外力の緩和
中分類	塗装の補修
技術の名称	塗装・吹付け直し工法
改修技術の概要	<p>・ 塗装は建築物の内外部に施され仕上げとしての美装の目的だけでなく、各種の劣化外力（雨水、飛散・浮遊物質、二酸化炭素ガス、紫外線など）や経年劣化などから被塗物を保護することによって、建築物の耐久性を向上させる。</p> <p>・ 既存塗膜の劣化に応じて、劣化塗膜を除去し塗装を行う。（全面除去が必要となる場合もある。）</p>
	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>状態の確認</p> <p>↓</p> <p>下地調整</p> <p>↓</p> <p>下塗り</p> <p>↓</p> <p>塗り工程</p> <p>↓</p> <p>養生</p> </div> <div style="flex: 2;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 劣化状況（変色、浮き・ふくれ）を確認し、既存塗膜の処理方法や改修方法の検討を行う</li> <li>・ サンダーや高圧水、ケレンなどを用いて塗膜や錆などの除去を行い、コンクリート面にひび割れがある場合は補修する</li> <li>・ 刷毛やローラーブラシ、吹き付け用のスプレーガンで行う。中塗り、上塗りなど塗料、仕様によって工程が異なる</li> <li>・ 塗膜面が汚れないように降雨、強風、直射日光を防ぐ</li> </ul> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;">  <p>塗装の様子</p> <p>（出典：マンション共用部改修工事＜事例集＞Vo12、（社）マンションリフォーム推進協議会）</p> </div> </div> <p>※上記の塗装に加え、ウレタンや不飽和ポリエステルやエポキシなどの液状の防水材を塗って固めて防水層にする塗布防水がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事期間： 2～3 ヶ月（30～50 戸の例、状態の確認～養生）</li> <li>・ コンクリートまたはモルタル部分を改修し、既存の塗膜を部分的に除去した場合は、この部分も含めて、塗り仕上げ材で部分改修する。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <p>ひび割れ部分のUカットシール充てん工法による改修後の塗り仕上げ部分改修の例 （出典：建築改修工事監理指針 平成 22 年版（財）建築保全センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改修後の性能 耐久性や美観の向上</li> </ul>

共同住宅のタイプごとの技術の適用	技術の種類	<input type="checkbox"/> 調査・診断技術 <input checked="" type="checkbox"/> 改修技術（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化を補修する技術 <input type="checkbox"/> 性能を向上させる技術）	
	共同住宅のタイプごとの適用可能性	S55年以前供給 中層階段室・壁式(総プロA1)	使われる可能性が相当ある
		S55年以前供給 高層・ラーメン(総プロA2)	使われる可能性が相当ある
		S56～H2年供給(総プロB)	使われる可能性が相当ある
		H3～12年供給(総プロC)	使われる可能性が相当ある
		H13年以降供給(総プロD)	使われる可能性が相当ある
(補足) —			
常にセットで利用される技術	<当技術を適用する前に実施する調査・診断技術> 塗装・吹き付け材の調査 (No. 21111107) <当技術を適用する前の劣化部分の除去技術> 劣化部の除去工法 (No. 11111101)		
技術が適用される建物の部位	<input checked="" type="checkbox"/> 共用部分 （ <input checked="" type="checkbox"/> 躯体・外壁 <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 建具 <input type="checkbox"/> 設備・配管等 <input type="checkbox"/> その他共用部） <input type="checkbox"/> 専有部分 （ <input type="checkbox"/> 設備・配管 <input type="checkbox"/> その他専用部） （設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 <input type="checkbox"/> 注意すべき主な法令（ ））		
団地で適用した場合のメリット	<input type="checkbox"/> 住棟まわりの土地が利用できること（仮設以外）（ ） <input type="checkbox"/> まとまった土地が利用できること（仮設以外）（ ） <input type="checkbox"/> 住宅の数が多く密度が高い（ ） <input type="checkbox"/> 特定の設備があること（ ）		
足場の設置が必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 （ ）		
工事による居住者への影響	数日以上居住できない住戸が発生	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 （ ）	
	一時的な影響が発生	<input type="checkbox"/> 断水などライフラインが一時的に利用不可 <input type="checkbox"/> 振動 <input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input checked="" type="checkbox"/> 粉塵 <input checked="" type="checkbox"/> 臭気 <input type="checkbox"/> その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 （ ）	
	工事後に続く影響が発生	<input type="checkbox"/> 専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限（ ） <input type="checkbox"/> 日照・採光等への影響（ ）	
当該技術が利用される工事	<input checked="" type="checkbox"/> 計画修繕工事（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化の補修 <input type="checkbox"/> 性能の向上） <input type="checkbox"/> 耐震改修工事（ <input type="checkbox"/> 耐震性の向上 <input type="checkbox"/> 他の性能の向上）		
技術的境界	—		
参考資料	技術情報	・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成22年版」（財）建築保全センター ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事監理指針 平成22年版」（財）建築保全センター	
	価格情報	・「マンション Re」（一財）経済調査会	